

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年 2月7日

事業所名：伊丹市立こども発達支援センター

配布数102/提出 96/未提出 6

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・活動時間の工夫や保育室、遊戯室の環境設定、廊下などのスペースの活用などを行い、利用児が伸び伸びと過ごせるように考えています。	はい(89)・どちらとも(7)・いいえ(0)・わからない(0)・無回答(6) ・遊戯室など広々と活動できる場がある ・外遊びも部屋中での遊びのびのびとさせてもらえてると思います。 ・子供が活動出来るスペースが沢山あって良いと思います。 ・子どもが動き回りたい子どものスペース(廊下)や寝転がるだけの子どものスペースもある。 ・走ったりもでき広いです。 ・部屋数もスペースの広さも十分あるので、子供も毎日楽しく活動できていると感じる。 ・広いに越した事ないと思います。外の庭の遊具の充実化など	今後も保育室や遊戯室、園庭などの使い方や遊びの内容を工夫し、お子さんに必要な活動を確保できるよう環境を整えていきます。
	2 職員の適切な配置	・センター全体で利用児の人数を把握し、保育士が流動的に動けるような体制をとっています。	はい(78)・どちらとも(13)・いいえ(2)・わからない(3)・無回答(6) ・今年度はリハビリの先生の人手が足りなくスケジュールを組むのが大変なようです。 ・もう少し先生の余裕がほしい ・担任+補助の先生も来ていただける時がある ・今年度は職員の人数が昨年度よりも明らかに少なく、職員の方々が忙しく動いている姿が保護者から見ても明らかに分かる。早急に補充すべきだと思います。 ・適切だと思います。 ・いつも誰か部屋にいてくださっている。 ・毎日手厚く見ていただいているおかげで子供の成長が感じられるので、十分適切であると思う ・リハの先生が足りないらしくお休み後の振替が一切出来なくなった。 ・もう少し先生の人数に余裕が欲しい ・言語療法や作業療法のリハビリの先生が少ないそうで先生も大変そうですし、一度お休みするとその分は受けられなくなってしまうので先生を増やしてほしいです。 ・職員の方がどんな資格を持っているか気になります	・活動の内容やお子さんの人数に応じて柔軟に対応できるよう職員体制を整えると共に、安全で丁寧な保育が行えるよう今後も職員間の連携を図っていきたいと思います。 ・基準内の適正な職員配置を実施していますが、今年度はリハビリ職員の補充が間に合いませんでした。人員確保には、常に公募をかけて取り組んでいきます。 ・職員の資格についてですが、医師・看護師・保健師・理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)・臨床心理士・保育士・社会福祉士・調理師・栄養士などそれぞれの分野に資格を持った職員を配置しています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人の特性に合わせた環境構成や対応を心掛けています。 写真、絵カードなど活用して分かりやすい環境設定を工夫しています。 	<p>はい(81)・どちらとも(9)・いいえ(0)・わからない(6)・無回答(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードを見ながら1日の流れを十分に理解できてると思う。 おもちゃなど保育室で自由時間に遊びたい物を自分で選べるようにおもちゃの写真カードなどあったらいいと思う。おもちゃには数の限りがあるので難しいかもしれないが、自分の要求は相手に伝えやすくなると思います。 口での指示が通らないので、視覚支援があれば次の行動が理解できるのかな？と思います。 バリアフリーなので安心しています。 おもちゃの片付けを写真でわかりやすくしてくださっている。 	<ul style="list-style-type: none"> いただいたご意見を参考にさせていただいて、各クラス視覚支援でコミュニケーションを図りやすいように工夫していきたいと思えます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の清掃、使用後の玩具消毒、定期的な園庭整備、年間の定期清掃を行っています。 玄関や利用者が複数になる部屋の出入口などに消毒液を設置しています。 感染症予防啓発のために、ポスターなど掲示しています。 毎月定期的に安全点検を実施し、環境整備を行っています。 	<p>はい(87)・どちらとも(6)・いいえ(2)・わからない(1)・無回答(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミ1つ無い状態で、オモチャなども片付いているのでケガもしにくい。 いつもとても綺麗に掃除されています。 いつも綺麗です。あと、室内温度もちょうど良いです。 教室も綺麗だし、消毒スプレーを常備されているので清潔だと感じる。 広いに越した事ないと思います。 転倒防止のため裸足で活動参加しているが、可能であれば上靴を履きたい。裸足でトイレに入ることに抵抗がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 冬の間は上靴を履く機会を設けています。トイレにはスリッパを用意していますが、歩行の不安定さがある場合は裸足ですので、トイレから出てきたら足裏を拭いて個別に対応しています。 抵抗なくトイレの環境に入りやすくする為、保育室の延長にあるので常に清潔に利用していただけるように心がけております。足裏を拭けるよう入口付近にウェットシートなどを用意していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> 年度毎に事業計画及び事業報告を作成しています。職員会議、保育運営会議などで、日々の業務や行事などの計画・実行・振り返りを行い、職員間で共有しています。 		引き続き実施していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			他機関のモデルなどを参考にしながら、実施の有無や方法について検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> 年間の研修計画をたて、センター内での研修だけでなく、外部研修への参加も推進し、職員の資質向上に努めています。 		今後も継続できるよう心掛けます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いを聴き取り、子どもの姿を捉えることで、計画を作成しています。聴き取り時に使用する書類(プロフィール)に関しては、毎年書式の見直しを行っています。 ・他職種の意見も参考にし職員間での共通理解を図るために、個別支援計画会議を実施し計画を作成しています。 ・カルミアは、利用日の時間中に保護者と話す時間を設けています。 	<p>はい(89)・どちらとも(7)・いいえ(0)・わからない(0)・無回答(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと話し合いのもとで作成してくれる ・園での日常生活の中での小さなできたことなどの報告が少ないので普段の様子がわかりづらいです。 ・性格や特性も理解して下さっていて、こちらの困り事も聞いて下さり計画書を作成していただいています。 ・いつも支援計画について丁寧に説明していただき、また私たちのニーズにもとてもあっています。 ・いつも丁寧に説明していただき感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単独通所時のお子さんの様子については、保育システム「コドモン」の連絡ノートや保護者の方の親子通所時で情報交換させていただき、お子さんの成長と一緒に共有できるようにこれからも心掛けていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性や年齢に合わせて課題や目標を設定し、集団の規模や保育形態を検討して保育を行っています。 ・つつじ、きぼうは、お子さんの年齢に応じて、延長保育やグループ保育を行っています。 ・カルミアについては、今年度1歳児のお子さんの利用増加に合わせて、保育形態の変更を行いました。 		
	3 児童発達支援計画における、子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	<ul style="list-style-type: none"> ・生活やあそびの中で、子どもが興味を持って取り組みやすい項目を設定し、具体的な手立てや支援方法を記入するよう努めています。 ・目標や支援内容については丁寧に説明し、保護者と共に取り組めるようにしています。 	<p>はい(93)・どちらとも(3)・いいえ(0)・わからない(0)・無回答(6)</p>	<p>引き続き実施し、懇談や親子通所の中で保護者の方と共有していきます。</p>
	4 児童発達支援計画に沿った適切な支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活やあそびの中で、一人一人が楽しく取り組めるように、特性に応じた環境設定や関わり方などを工夫しています。 ・他職種とも連携し、支援や介助の方法など検討しています。 	<p>はい(86)・どちらとも(9)・いいえ(0)・わからない(1)・無回答(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日様子を見られるわけではないが、しっかりとしていると思う。 ・担任以外でもリハビリの先生方は相談しやすく、ご尽力いただいていると感じます。 ・いつもありがとうございます。 ・保育の場で、状態が様々な複数の子ども達を、対応するのは難しいと思うので。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、一人一人が笑顔で過ごせるよう毎日の保育を考えていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	5 チーム全体での活動プログラムの立案	<ul style="list-style-type: none"> ・活動予定を事前に職員会議などで決め、内容や役割分担などの打ち合わせを心掛けています。 ・他職種との会議を行い、参考にして活動内容を検討しています。 	<p>はい(81)・どちらとも(10)・いいえ(0)・わからない(5)・無回答(6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのお子さんの興味を示すタイミングもあることを想定して新しい体操の提案時期も考えていきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだいも夏休みの期間でも、保護者同伴の療育が提供できるよう、きょうだい保育を実施しています。 ・幼稚園と並行利用している利用児の長期休暇中の利用を柔軟に対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンダーランドなどの前に体操が変わると、子供も保護者も慣れなくて大変です。 ・毎日、家では出来ないような色々な遊びをしてくれる ・家ではできない体験をさせてもらえているのでありがたい。 ・保育に参加するメンバーを見てそのメンバーに適正な保育をしてもらえるとありがたい。例えば、参加している四人中三人が歩けないのに、かけっこ遊びなど。 ・毎月色々な遊びを考えて楽しませて下さっています。 ・色々工夫されていていつも有り難く思います。 ・いつもいろいろな活動をしていただき楽しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無理のない範囲で楽しめるようにしていきます。 ・保育内容については、できる限りいろいろな活動を体験してほしいと日々の保育を考えています。遊びの名称についても工夫を凝らして子どもたちに提供していこうと思います。 ・運動会季節になると、かけっこや玉入れなど季節あそびの経験ができるような活動を行っています。特にかけっこは一人ひとりに合った姿勢や器具(歩行器など)、介助をしながら季節あそびが楽しめるように取り組んでいます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムについては、各クラスで話し合った案(月・週)をもとに全クラスで確認しあい、内容を工夫しています。 ・保育研修を積極的に受講し、活動内容に生かしています。 ・保育士の交流会を行い、お互いの取り組んでいる活動の情報交換をしています。 		
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝礼で、当日利用予定の子どもの情報共有を行い、保育内容や人員配置の確認、保育準備、食事介助の確認などを行っています。 ・今年度より、つつじ・きぼうは保育システム「コードモン」の導入により、保育士が利用児のお子さんの情報をスムーズに共有できるようになりました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施していきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・療育終了後や翌朝礼時に、その日や前日の子どもの様子などを記録、報告し合い、次の支援に生かせるようにしています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施していきます。
10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・療育終了後に子どもの記録を記入し、支援の検証や改善を実施しています。また、全体の記録としては、日誌を担当が記入しています。 ・定例会議で子どもの情報共有や支援方法の検討など行っています。 ・他職種とも連携し、支援や介助の方法など検討し改善していきます。 ・行事後は反省を記録に残し、次回に生かすようにしています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施していきます。 	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・つつじ・きぼうでは前期・後期、カルミアでは利用期間の中で年2回、個別支援計画を作成し、保護者との面談を通して、子どもの成長や変化、「保護者の想い」等を聴き取り、内容の検討を実施しています。 ・職員間では、会議・カンファレンスでの意見交換を通して個別支援計画の見直しを行っています。		・引き続き実施していきます。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画			・必要に応じて、実施していきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			・引き続き、各関係機関との連携を密にし、支援を実施していく。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			・引き続き、利用者のニーズに合わせ、受け入れ体制の整備や医療機関との連携に努めます。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・移行予定先からの子どもの様子の事前見学の受入れ、引継書を用いた引継ぎ、サポートファイルの作成などを行っています。 ・保護者や移行後の施設と連携をとり、保育所等訪問支援事業を実施しています。		・お子さんや保護者の方が安心して移行できるように丁寧な引継ぎやアフターフォローを行っています。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供			
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・他機関、専門機関等での研修案内を朝礼で職員全体に周知し、自主的に参加できるように促し、受講を促進しています。		・引き続き、実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・つつじでは、居住地域の幼稚園等での地域体験を 年長希望児において10月から月1回実施しています。年小中児については、地域の幼稚園で行われる「みんなのひろば」開催日を掲示し、地域との交流の機会になるよう情報提供しています。 ・カルミアは、週1回の保育、利用が低年齢児のため、園との地域交流は実施していませんが、地域のあそび場やプレ保育などの情報提供を行い、利用を促して地域との交流ができるようにしています。 ・きぼうでは、進路先を検討している保護者や興味を示される保護者に対して、地域幼稚園で開催されている「みんなのひろば」の開催日程を情報提供しています。 	<p>はい(11)・どちらとも(13)・いいえ(31)・わからない(41)・無回答(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長の後半に計6回交流がある ・年少・年中児が無いだけであるのかもしれませんが、幼稚園とまではいかないが、にじいろ広場など、公立幼稚園などで行われているものには参加できるならば子供としても保護者としても視野が広がるように感じます。 ・疾患や障害を含め個々の特性があり、健常児との交流に関しては特に必要性を感じない。 ・全く無いわけではないが、交流の場や機会はそう多くはない。 ・あまり必要性を感じませんので現状でいいです。 ・年長さんのみあるようですが、それ以下の子もあつたらいいと思います。 ・利用回数がまだ少なく、交流の機会がないためわからない。 ・そのような場があると刺激になり嬉しいです。 ・幼稚園の訪問を取り入れて、定型児との交流ができれば良いと思う。 ・まだ子どもがそこまでの年齢ではない。 ・まだ入園して一年も経っていないのでわからないのですが、現時点では障害のない子供との交流はないです。 ・まだ幼稚園や保育園に通っていないのでわからないが、入園に向けての準備などを助けていただいています。 ・あまりない気がします。あっても気を使ってしまう。 ・まだ通園していないので、わかりませんが、通園に向けて色々としていただいています。 ・年少からわくわく幼稚園？に行ける日をもっと口頭でも言った方がいいのかなと思います。行ってプラスになる子もいるので。 	<p>ここ数年はコロナ感染の状況もあり、積極的には交流できていませんでしたが、少しずつ対外活動の制限もなくなってきました。職員が付き添っての地域交流は、十分な対応に至らずご協力いただく場合もありますが、それぞれお住いの地域での交流できる場所の紹介や、様々なお子さんとの交流できる機会を作るよう努めます。</p>
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所からの見学については、感染症予防に留意しながら、人数を調整しつつ随時受け入れています。 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて対応していきます。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容については、各部門にて個人懇談を実施し説明しています。 ・利用者負担等については、契約時に手引き等を用いて説明をしています。 ・説明後に変更があった場合は、保護者懇談会、配布手紙やメール、個別への連絡等の手段で確実に情報提供を行っています。 	<p>はい(90)・どちらとも(3)・いいえ(2)・わからない(1)・無回答(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きちんと説明を受けられた。 ・わからないことも丁寧に説明していただきました。 ・支払い方法をもっと簡単なものにしては欲しい。ペイペイで払える、コンビニで払えるなど。 	<p>支払い方法については、伊丹市のキャッシュレス化導入の進捗状況に合わせて検討していきます。</p>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援(続き)	2	児童発達支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	<p>・支援内容については、懇談を実施し、計画書を提示しながら保護者の願いを確認し、目標や支援内容を説明しています。</p>	<p>はい(92)・どちらとも(2)・いいえ(1)・わからない(1)・無回答(6)</p> <p>・作成した用紙の内容だけでなく、項目に関する詳細も説明してくれる。 ・いつも丁寧に説明していただき感謝しています。 ・1つ1つ丁寧に説明してくれた ・いつも丁寧に説明していただいています。 ・個人懇談でしっかり説明があります。</p>	<p>・これからも保護者の方にわかりやすい説明に努めてまいります。</p>
	3	保護者と共に、子どもへの関わり方について考え、支援を進めているか	<p>・親子通所や懇談の中で、生活の中での様子や困り感を聴き取り、関わり方を具体的に伝えるなどして、保護者との情報共有や育児支援を行っています。 ・家族支援として、内容を吟味し保護者教室①や保護者教室②を実施し、育児に必要な情報の提供、先輩保護者の話を聞く機会など設け、保護者支援を行っています。 ・他職種とも連携し、保護者からの相談に対応しています。</p>	<p>はい(87)・どちらとも(6)・いいえ(0)・わからない(2)・無回答(7)</p> <p>・自分の子供にどんな支援が一番必要かを一緒に考えてくれる ・いつも子供の様子を見ながら、こうゆうことをやってるといった報告やこうしたらいいんではという提案がされていて、しっかり子供のことを見てくれているというのが感じられる。 ・いつも相談にのっていただいています。 ・具体的に教えてくれる</p>	<p>・親子通所時・懇談の中での保護者の方のお話から、支援のポイントを共有し、計画を立てていく流れを今後も大切にしていきたいと考えています。</p>
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<p>・親子通所の療育を実施し、保護者との情報共有や育児支援を行っています。 ・つつじ・きぼうは、保育システム「コドモン」でのやりとりや、送迎時や電話などでの連絡を行い情報共有を行っています。</p>	<p>はい(86)・どちらとも(9)・いいえ(0)・わからない(1)・無回答(6)</p> <p>・困り事や悩みは都度相談していて、共感してくれる ・いつも親身になって聞いて頂いて感謝しています。 ・不安や心配事などを聞いてくれて、アドバイスもいただけるので安心します。 ・いつも子どものことを、しっかり見ていただき、私でも気づいていないことも気づいていただいていた、感謝しています。 ・毎日の連絡帳や、親子通所で会った時には必ずどんな様子かを細かく教えてくれる。</p>	<p>・市内で親子通所している唯一の事業所であり、親子通所の機会を私たちは、乳幼児期の親子にとって貴重な時間と学びになるよう取り組んでいます。これからもぜひお声掛けください。私達も保護者の方への声かけを大切にしていきます。 ・保育の中で見られるお子さんの様子を的確に伝え、成長や課題になることを保護者と共有し、関わり方など提案できるよう心掛けます。</p>
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	<p>・親子通所や懇談の機会に、保護者の悩みに寄り添うよう心掛けています。 ・他職種とも情報共有を行い、連携して保護者からの相談に対応できるようにしています。 ・必要に応じて児童精神科医相談を案内し、より専門的なアドバイスを受ける機会を提供しています。 ・カルミアは、利用日の設定保育の前の時間に保護者と話す時間を設けています。</p>	<p>はい(81)・どちらとも(11)・いいえ(1)・わからない(3)・無回答(6)</p> <p>・定期的に懇談がある。 ・たくさんアドバイスを頂いています。 ・親身になって聞いてくれるので、話しやすく助かっています。 ・個人懇談もあるし、親子通所で直接会った時にもお話がある。</p>	<p>・お時間が必要な時はいつでもお声掛けください。</p>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援(続き)	6 保護者会の活動の支援や、保護者教室の開催等により保護者同士の連携が支援	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日通所のつつじ・きぼうは、保護者会や保護者教室の活動を通して、保護者間の連携が取りやすい機会を設けています。 ・保護者会や保護者教室開催時には親子分離保育を行い、保護者同士の交流や意見交換の機会を設けています。 ・カルミアは、保護者教室は行っていますが、保護者同士の連携までは至っていません。 	<p>はい(64)・どちらとも(14)・いいえ(5)・わからない(13)・無回答(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士が関わることのできる機会は、他の園や学校に比べて多いと思う ・手作り教室があって良かった。 ・保護者会の役員をやりたいくないという声が多くあります。 ・もっと保護者同士、会話がしたいが子供を追いかける為なかなか話せない。 ・開催されているかどうかわからない。 ・フリータイムなどで保護者同士話ができるのはありがたい。保護者会もあり、楽しいです。 ・特別に日程は組まれていないが、保護者と子供と一緒に通所する形なので、問題ない。 ・特別に機会はないが、親子同伴通所のため、満足しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の役員につきましては、保護者会の方に委託していますので、仕事内容などを減らすなど工夫して負担のない内容にしていただければと思っています。 ・保護者同士のコミュニケーションの機会のひとつとして、手作りおもちゃ作りの機会を設けています。保護者の思いに寄り添い、安心して参加していただけるようにサポートしていきたいと思っています。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応について、契約時に説明しています。 ・苦情や要望が上がった際には、迅速に対応できるよう努め、職員にも周知し対応できるように心掛けています。 	<p>はい(35)・どちらとも(9)・いいえ(1)・わからない(50)・無回答(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情があるかどうかは分からない ・いちども聞いたことがないので、苦情等を周知するとは思いませんでした。 ・苦情連絡をしたことがないのでわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情を受けた職員は、苦情解決責任者と対応方法を整備し対応しています。要望や苦情があった際は、それぞれのケースに合わせて懇談やその都度話し合いの場を設け、職員全体が周知し対応できるように心掛けます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の特性に合わせて、コミュニケーションできるように視覚支援教材やコミュニケーションツールを利用しやりとりをしています。 ・利用者全体への連絡事項や、実施内容の変更などがあった場合は、保育システム「コドモン」や「ミマモルメ」でメールを配信し、個別での情報提供などでの周知に努めています。 ・子ども一人一人の特性に合わせた関わりに取り組み、保護者に親子通所や懇談を通して伝えています。 	<p>はい(76)・どちらとも(10)・いいえ(1)・わからない(9)・無回答(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚の方が理解しやすい子が大半だと思うので、視覚支援がメイン ・ジェスチャーや手話を使ってわかりやすくしてくださっている。 	<p>お子さんとのコミュニケーションについては、視覚教材を使っても行っていますが、気持ちに寄り添いながら関係づくりにも努力しています。お子さんから出されるサインを見逃さず毎日の生活を大切にしたいと考えています。</p>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援(続き)	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の行事計画、毎月のくらすだよりや利用計画、行事の詳細についての手紙などを「コードモン」や「ミマモルメ」で配信し情報提供を行っています。 ・一斉メール配信を利用したり、休日でも職員への連絡ができるように、緊急時の対応を行っています。 	<p>はい(92)・どちらとも(1)・いいえ(0)・わからない(3)・無回答(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月の行事などは定期的に連絡してくれている ・わかりやすい ・日常のリハビリや保育などに父親も参加できる日を数日設けて欲しい。普段がどんな様子が共有したい。 ・行事の詳細はもう少し早く配信してほしいです。 ・毎日の活動内容は保育室内の掲示板で確認できるが、可能であれば配布いただくお便りにも記載いただけるとありがたい。 ・今年度からのアプリの活用は大変充実している。 ・コードモンになってから便利だけど、不便さも感じて中途半端な気がする 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の親子通所日については、こちらから指定させていただく日もありますが、予定が合うようでしたら保護者の方(普段来ていただくことが難しい保護者の方)の保育参加は担当にお声かけください。(つつじ) ・行事の詳細については、ご迷惑おかけしました。これからは早く配信できるようにしていきます。 ・保育システム「コードモン」は職員一同、模索しながら進めた一年でしたので、今年度を踏まえて次年度もより良いサービスに繋がるよう取り組んでいきます。 ・保育内容を掲示にて確認いただきありがとうございます。掲示を携帯で撮影し、家庭でも確認しやすいよう掲示の箇所を増やして対応させていただきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報については、市職員向け情報セキュリティ研修を全員が受講し意識の向上を図っています。 ・紙媒体の個人情報書類については、鍵付きの書庫にて管理し、書類作成、情報公開に際しても取り扱いには十分に注意をしています。 ・個人記録や連絡先等を記入しているノートや書類等は持ち帰りを禁止し、情報流出防止を徹底しています。 	<p>はい(81)・どちらとも(4)・いいえ(1)・わからない(10)・無回答(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意してくれていると信じている ・特に気にならない。 	<p>今後も継続できるよう心掛けます。個人情報を取り扱っているという認識を深め、職員間で徹底していきます。</p>
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアルを作成し、いつでも確認できるよう提示やホームページへの掲載を行っています。また台風など警報発令時の対応についても、コードモン・ミマモルメでお知らせするようにしています。 ・感染症対応は、市の取り組みに準じて行い、手紙やポスターの掲示などで保護者に知らせたり、職員にも朝礼や資料の回覧、ポスターの掲示などで周知徹底を行っています。 	<p>はい(76)・どちらとも(8)・いいえ(0)・わからない(12)・無回答(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春にある程度の説明はあった ・マスクはまだみんなしているのは安心します。 	<p>社会状況に応じた、対策が行えるように努めてまいります。</p>
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・センター全体で年2回の避難訓練を実施しています。カルミアは、曜日ごとに週1回登所するため、訓練実施曜日が重ならないよう計画しています。 ・つつじクラスは月1回、きぼう・カルミアクラスは不定期ですが独自で避難訓練を行っています。また、避難経路を掲示しています。 	<p>はい(77)・どちらとも(4)・いいえ(3)・わからない(12)・無回答(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもだけの避難訓練は定期的に行われている ・まだしたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時のマニュアルを ホームページへの掲載したり各クラスにおいてます。ご確認ください。ただればと思います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応(続き)	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催等の虐待防止研修会への積極的な参加を促しています。 ・あすばるの職員全員が参加する人権研修会を実施し、人権意識の向上を図っています。 ・療育の中での子どもへの対応については、全職員がかかわり方を再度見直し、お互いに声を掛け合いながら虐待につながる事案が起きないように未然防止に努めています。 		引き続き、研修会への積極的な参加を促すと共にあすばる内でも研修を実施して、職員の人権意識を高め、一人一人の思いに寄り添う支援を心がけます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙で書類を作成し、保護者説明を行い、同意を得ています。 ・行動を制限した場合は記録に残し、対応や改善方法など職員間で検討しています。 		適切な関わりを行うことで、行動制限の必要性がなくなるよう、対応方法など職員間で検討するよう努めます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にアレルギーの有無を確認し、給食開始の際は、看護師や職員が聞き取りを行い、主治医からの情報や診断書を基に対応しています。 ・献立表作成時には食材を確認し、保護者にも事前に献立表を確認していただいています。 ・調理手順では、除去食を先に調理し食材の混入を防ぐ、検食での確認などを行っています。 ・アレルギー児のトレーや名札を用意し、提供前の声出し確認をしています。エプロンや衣服についた食べこぼしを落とし、足裏を拭いてから退室するようにしています。 		・今後も食物アレルギーだけでなく食事提供における様々なリスクを想定し、職員間で確認作業を重ね、適切な対応がとれるように努めます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内リスク会議を月1回実施しています。また、市内公立保育施設のリスク会議に出席し、リスクの報告、検証を行い共有しています。 ・ヒヤリハット、アクシデントが発生した場合は、検証を行い、報告書の記入、報告を通して職員間での情報共有を行っています。 ・前月や前年度同月の事例を参考に、次月に予測できるリスクを職員会議で確認し、職員一人一人が意識して未然に防げるよう努めています。 ・センター内やセンター周辺の危険箇所を掲示し、保護者と共有できるようにしています。 		引き続き、安心安全に利用していただけるよう、環境や対応方法について見返し、職員間で情報共有し、事故防止に努めたいと思います。